

# 清水二中学区 小中一貫教育だより

第4号 R6.2.7

4校共通の学校教育目標 「かしこく やさしく たくましく」

1月31日(水)15:00より清水二中にて、第4回小中一貫教育推進委員会を開催しました。今号では、その話し合いの様子を報告します。

## 1 地域防災訓練の振り返りと協議

—今年度より初めて学区児童が参加して行った船越、岡両自治会の「地域防災の日」の取組を中心に、各委員より意見を伺いました。—

### ○活動の計画と訓練の実際の様子について

- ・地区防災長を始め、地区の方々に負担をかけないようにしたい。
- ・学校側からアイデアを出して、子供たちが訓練参加の役割をきちんと担えるようにしたい。
- ・どの自治会も活動内容を工夫してくださっていた。
- ・小学生が初参加で、とまどいがあった。
- ・地域は、学校との距離が近づいた。学校は、人や地域とのつながりができた。
- ・人数の多さや開催場所の広さの課題がわかった。
- ・避難者が来ることも考えながら、日頃から施設管理等に努めたい。
- ・高齢者の方から参加して良かったとの感想をいただいた。
- ・全員参加と訓練参加の満足感、負担を小さくして持続可能な訓練にすることを考えたい。
- ・よくできているハザードマップの活用を考えたい。

### ○幼児・児童・生徒の様子について

- ・訓練当日の動きに二中学生の活躍が見られた。力がある。
- ・子供が主体的に訓練参加できるように活動を考えたい。
- ・避難所運営の貴重な人材になる子供たち。発災時、主体的に役割を果たせる力を育てたい。
- ・小学校が防災チラシを届けてくれて、園児や保護者の防災意識が高まった。
- ・児童と生徒が集まり、顔合わせしたり活動の計画を一緒に作ったりする場をつくりたい。



**☆いただいたご意見をもとに、来年度において持続可能な実施方法を考えていきます！**

## 2 分掌別分科会今年度の取組について報告

—9つの分掌別分科会から、今年度の各分科会の取組について報告を行いました。—

### ☆教育課程部会

軸となる取組「防災」にかかわって、防災学習に関する活動を教育計画に反映させた。また、学校評価アンケートの質問項目を検討し実施できた。9年間を貫く教育課程に対する職員の意識が高まってきている。今後、令和6年度の教育課程表の作成に取り組んでいく。

### ☆学習部

家庭学習の各校の取組について、情報交換し実践の蓄積を行った。自らの興味や苦手な科目、学び方を調整しながら家庭学習に取り組むことで、「豊かに表現し学び続ける子」の育成をめざした。学習計画を立て、自主学習を取り入れることが軸になることが共有できた。

## ☆情報教育部

「キーボード入力スキル育成」、「Meet（動画・音声等のオンラインでのPC交流システム）を活用した児童会と生徒会交流」、「情報モラル指導」に取り組んだ。キーボード入力スキルの向上が見られた。Meetの利用と情報モラル指導が次年度の課題である。

## ☆生活指導部

主体性の育成の面で「校則の見直し・検討」を行い、各校の実態に合わせて進めることができた。社会性の育成の面で「あいさつ」に引き続き取り組んだ。4校が足並みを揃えて同じ水準で取組をすすめるところに難しさがあった。

## ☆特別活動部

二中学生会による（出身小学校で挨拶活動を行った）「あいさつ DAY」の実施で、小中の交流ができた。次年度にもつなげて、かかわりの輪を広げたい。クラスルーム（オンデマンドで情報交換を行えるPC交流システム）を運営し、目的意識をもって各校の取組の交流ができた。

## ☆特別支援教育部

県作成の「ユニバーサルデザイン授業づくりチェックリスト」を全教員実施した。その結果、高評価の項目となった「児童生徒を認め肯定的表現で話しかけている」の姿勢を、二中グループ教職員の強みとしてより伸ばそうとした。また、困り感をもつ児童生徒を支える「個別の教育支援計画」作成と保護者及び小中間の共有化を図った。



## ☆健康教育部

メディアについてのルールを決めて家庭で取り組む「メディアチャレンジ」に取り組んだ。夏季から冬季へと成果・課題をつなげられるようカードを工夫できた。また、体力向上について、運動・遊びに関するルールや取組の情報交換を行った。

## ☆食育部

12月3日の地域防災の日に向けて、防災食の紹介や各校の備蓄品の見学を行い、防災食への理解が深まった。また、二中グループの課題「残食を減らす」に向けた取組を各校ごと工夫して行った。「残食を減らすことの日常化」が今後の課題である。

## ☆防災教育部

小5で「ジュニア防災士シルバー」を、中2で「ジュニア防災士ゴールド」を全員取得できた。防災に関する4校統一の計画表を作成し、学んだ足跡を記録していった。防災学習は、「まちづくり」を視野に入れていきたい。地域防災の日の活動計画を4校で見合ったり協力体制を考えたりしたい。6年生や中学生は、地域の役に立つ視点で、活動を考えていきたい。

## 3 令和6年度清水二中グループ小中一貫教育の取り組み方について説明

- 最後に、令和6年度の取組の見通しについて、校長連絡会から説明を行いました。—
- 令和5年度同様の学校教育目標、重点目標とし、「軸となる取組」も引き続き「ユニバーサルデザイン」と「防災」とする。分掌別部会は、7つに再編して取り組む。
- 小中一貫教育推進委員会を「学校運営協議会（コミュニティースクール（CS）」へと移行する。植野浜田地区連合自治会長を委員長とする組織及び運営協議会規約を作成する。

☆学校運営協議会では、「地域学校協働活動」、「評価」、「防災」の3部会で、学校と保護者と地域が一体となって、子供たちの健全育成に向けた活動を、計画・実行していきます。

☆グランドデザインとCS組織及び規約は、各校のホームページよりご覧いただけます。